

## 秩父皆野町 『悠う湯ホーム』にて公演

7月29日(金) 公演先『悠う湯ホーム』は秩父皆野町中心部より西北西約4Kmに位置し、夏には天然ホテルが飛び交う秩父溪谷の山紫水明の地にあり、近くには「秩父華厳の滝」や秩父谷では有名な『満願の湯温泉』が隣接しています。

我々6人は40名程の入所者の前で、小生の司会進行で挨拶、南京玉すだれの「基本技」を5人で演じ、続いて自己紹介、南京玉すだれ「きよしのズンドコ節」、続いて南京玉すだれ「麦畑」では座も最高に盛り上がり拍手喝采(嬉しい)を戴きました。



「悠う湯ホーム」全景



5人での基本技(阿弥陀様)の一コマ。

「麦畑」ではTTさん、MNさんのベテランコンビと新座員のJKさんとAGさんコンビも息も合ってバッチシでした。

続いての「サザエさん体操」では新座員YNさんの指導リードで入所者、職員の方も一体で演じ更に盛り上がりました。



マジックではJKさんは演技、姿格好もバッチシで流石です。小生も二回目の公演で慣れたのか、まあまあの出来栄え(本人の甘い評価(笑)) 筒の中で3枚のハンカチを結び空中に飛ばす演技ではおおっと感嘆の声と拍手を戴き今後の公演の励みになりました。

オカリナはMNさん、YNさんのコンビで「瀬戸の花嫁」など3曲をじっくりと聞かせました。体でリズムをとる方や口ずさむ方など居られ、楽しんでおられました。



触れ合いタイムでは入所者に実際に玉すだれに触れて頂き、交流を深め又愉しんで戴くのが目的です。阿弥陀如来を作って持って頂き記念写真を撮ってもらうのですが、どなたもその笑顔が可愛くとても素敵で印象に残りました。

今回元気な方からは枝垂れ柳がしたいとの要望が有った様ですがこれはちょっと無理でお断りした様です。

締めは小生の「ドジョウ掬い」最後に座長のお礼の挨拶で締めくくりました。

別れ際握手を求められたり、「良かったあ〜」「又来て下さい」の声が掛り、我々も公演が楽しく出来た事を感じつつ隣接の「満願の湯」へと向かい、ゆったりとした後、帰途につきました。



(記 磯田 壯男)